

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11287

車駕之古址古墳公園管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	車駕之古址古墳公園管理事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二 435-1194
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	県指定文化財(史跡) 車駕之古址古墳公園の適正な維持管理を行う。		県指定文化財(史跡) 車駕之古址古墳公園の適正な維持管理を行う。			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	小学生や市民を対象とした説明会を実施。 草刈り・清掃などの維持管理事業。 古墳の景石9個を移設。	小学生や市民を対象とした説明会を実施。 草刈り・清掃などの維持管理事業。 古墳の景石9個を移設予定	県指定文化財(史跡) 車駕之古址古墳公園内の草刈り・清掃などの維持管理事業、小学生や市民を対象とした説明会の実施、古墳の景石の移設	県指定文化財(史跡) 車駕之古址古墳公園内の草刈り・清掃などの維持管理事業、小学生や市民を対象とした説明会の実施、古墳の景石の移設	県指定文化財(史跡) 車駕之古址古墳公園内の草刈り・清掃などの維持管理事業、小学生や市民を対象とした説明会の実施、古墳の景石の移設	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,485	3,407	3,350	3,283	3,340	2,558	3,252	0	3,252	0
伸び率(%)	△19.4%	△12.3%	△3.9%	△3.6%	△0.3%	△22.1%	△2.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,829	2,067	2,473	2,712	1,599	1,679	1,839	0	1,839
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,829	2,067	2,473	2,712	1,599	1,679	1,839	0	1,839
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	3,485	3,407	3,350	3,283	3,340	2,558	3,252	0	3,252	0
所要人数(人)	正規職員	0.23	0.26	0.31	0.34	0.20	0.21	0.23	0.00	0.23
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	植栽等委託料 1,900千円 移設委託料 869千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
説明会実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	1	1		
		達成度(%)	100%	50%	50%	0%	%
説明会参加者数	人	目標値	150	150	150	150	150
		実績値	171	159	160		
		達成度(%)	114%	106%	106%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	説明会への参加者は、小学校児童が多く、次世代の文化遺産の愛護意識の醸成に役立っている。また、周辺での避難適地となっているため、防災関連の催し物でも、古墳の歴史を紹介する機会が定例化しつつあり、地域の活動にも役立っている。
見直し・改善内容	パンフレットの配布やホームページでの紹介を促進し、より多くの人々に存在・歴史的価値を知ってもらうように努める。